

令和6年度実施 岡山市公立学校教員採用候補者選考試験実施要項

岡山市教育委員会

○第1次試験（詳細は、P9「選考試験の日程・内容及び会場等」）

試験内容：教科等専門試験、個人面接

日 程：7月6日（土）、13日（土）、14日（日）

※対象者のみ7月6日（土）に特別面接

○第2次試験（詳細は、P9「選考試験の日程・内容及び会場等」）

試験内容：集団活動、個人面接、模擬授業（模擬場面指導）・口頭試問、実技（対象者のみ）

日 程：8月10日（土）～12日（月）、17日（土）～19日（月）

1 目的

この選考試験は、令和7年度の岡山市公立学校教員採用候補者の選考資料とするために実施する。

2 受験資格

次の各号のいずれにも該当する者

(1) 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項に該当しない者

(2) 受験区分に相当する教諭普通免許状所有者又は令和7年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者

※いずれの免許状についても教員資格認定試験による取得見込みは除く。

※大学3年生等特別選考で受験する者については、出願時に大学3年生等で、令和7年度中に卒業見込みであり、志願する受験区分に相当する教諭普通免許状を令和8年3月31日までに取得見込みの者であること。なお、大学3年生等とは、大学または大学院の最終年次の1年前の年次に在籍している者をいう（科目等履修生は含まない）。

(3) 60歳未満（昭和40年4月2日以降に生まれた者）

3 受験区分及び採用候補者予定数等

受験区分		教科	採用候補者予定数
校種等	[枠]		
小学校	—	—	110名程度
	[英語]		[英語枠 若干名]
	[小中連携推進]		[小中連携推進枠 5名程度]
	[特別支援教育推進]		[特別支援教育推進枠 若干名]
中学校	—	国語、社会、数学、理科、音楽、 美術、保健体育、技術、家庭、英語	55名程度
	[小中連携推進]		[小中連携推進枠 5名程度]
	[特別支援教育推進]		[特別支援教育推進枠 若干名]
養護教諭	—	—	4名程度
栄養教諭	—	—	1名程度

(1) 英語枠、小中連携推進枠、特別支援教育推進枠の採用候補者予定数は、小学校及び中学校の採用候補者予定数の内数である。

(2) 受験区分の[枠]への出願については、下記の点に留意し、所有免許状に相当するいずれか一つの受験区分、教科を選択する。

受験区分の[枠]	必要な免許状	採用された場合	選考について
英語	○小学校教諭普通免許状 ○中学校教諭普通免許状(英語) 又は高等学校教諭普通免許状(英語)	○小学校において通常の学級等を担当しながら、英語教育を中心となって推進する役割を主に担う。必ずしも英語専科になるとは限らない。	○英語枠の採用候補者にならなかった場合でも、小学校の受験区分で選考し、採用候補者となる場合がある。
小中連携推進	○小学校教諭普通免許状 ○中学校教諭普通免許状	○受験した区分にかかわらず、1校目は小学校又は中学校のどちらかでの勤務となり、2校目は原則、異校種での勤務となる。	○小中連携推進枠の採用候補者にならなかった場合でも、小学校又は中学校の受験区分で選考し、採用候補者となる場合がある。
特別支援教育推進	○小学校又は中学校教諭普通免許状 ○特別支援学校教諭普通免許状	○小学校又は中学校において特別支援教育を中心となって推進する役割を主に担う。ただし、通常の学級等を担当する場合もある。	○特別支援教育推進枠の採用候補者にならなかった場合でも、小学校又は中学校の受験区分で選考し、採用候補者となる場合がある。

4 選考区分

(1) 選考区分には「一般選考」、「特別選考」及び「身体に障害のある者を対象とした選考」がある。

選考区分		措置	
一般選考		—	
特別選考	① 社会人経験者特別選考（社会人経験者を対象とした特別選考）	第1次試験を免除し、特別面接を実施	
	② 教職経験者特別選考 （教職経験者を対象とした特別選考）	現職教諭（養護教諭・栄養教諭）を対象とした特別選考 ※	第1次試験を免除し、特別面接を実施
		岡山市元教諭を対象とした特別選考	第1次試験を免除し、特別面接を実施
	③ 講師特別選考（講師等経験者を対象とした特別選考）	第1次試験を免除	
	④ 理科教育推進特別選考	教科等専門試験を免除	
	⑤ 大学等推薦特別選考	教科等専門試験を免除	
	⑥ 大学3年生等特別選考（大学3年生等を対象とした特別選考）	—	
身体に障害のある者を対象とした選考		—	

※小学校教諭及び中学校教諭を対象とした現職教諭特別選考は11月に実施する。詳しくは教職員課ホームページ掲載の「『令和6年度実施 岡山市公立学校教員採用候補者選考試験【現職教諭（小学校教諭等・中学校教諭等）を対象とした特別選考】』実施について（概要）」を参照すること。

- (2) 本試験において特別選考の出願はP1「2 受験資格」に加えて、各特別選考の出願要件を満たすこと。ただし、特別選考を重複して申し込むことはできない。
- (3) 書類審査の結果、特別選考の対象となった者には試験の免除等の措置を行う。特別選考の対象にならなかった者は、一般選考の出願者として受け付け、試験の免除等の措置は行わない。なお、書類審査の結果については、受験票送付の際に通知する。
- (4) 選考区分の対象となる受験区分、出願要件等については、次のとおりとする。

一般選考	
対象となる区分	○すべての受験区分
出願要件	○受験資格を満たす者。

特別選考① 社会人経験者特別選考	
対象となる区分	○すべての受験区分
出願要件	○平成31年4月1日から令和6年3月31日までの間に、民間企業、官公庁（教職以外）及び大学又は研究機関等の正規職員として、出願時に1か所で3年以上（休職や育児休業等の期間を除く）勤務しており、教員の職務を行うのに必要な出願する受験区分（教科）に関する専門的な知識・技能や経験を有する者。

特別選考② 教職経験者特別選考		
現職教諭（養護教諭・栄養教諭）を対象とした特別選考	対象となる区分	○養護教諭、栄養教諭
	出願要件	○出願時において、国公立学校（岡山県内の公立学校を含む）に正規任用の養護教諭、栄養教諭として在職（休職中である場合を除く）しており、通算3年以上の在職経験（休職や育児休業等の期間を除く）がある者。
岡山市元教諭を対象とした特別選考	対象となる区分	○すべての受験区分
	出願要件	○岡山市立学校において正規任用の教諭等（副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭を指す）、養護教諭、栄養教諭として通算3年以上の在職経験（休職や育児休業等の期間を除く）があり、教職経験のある校種等、教科を志願する者。

特別選考③ 講師特別選考	
対象となる区分	○すべての受験区分
出願要件	○次の①②の要件を全て満たす者。 ①令和5年度実施岡山市公立学校教員採用候補者選考試験で、第1次試験の結果、第2次試験の受験資格を得た者のうち、令和6年度実施の試験を令和5年度実施の試験で受験した受験区分及び教科と同一の受験区分及び教科で受験する者。ただし、令和5年度実施岡山市公立学校教員採用候補者選考試験を特別選考で受験した者は除く。 ②令和6年度に、常勤講師等（常勤講師、養護教諭（臨時的任用）、養護助教諭、栄養教諭（臨時的任用）、実習助手、任期付短時間勤務職員を指す）、非常勤講師又は栄養士（会計年度任用）として岡山市立の小学校・中学校・義務教育学校・高等学校及び岡山大学教育学部附属小学校・中学校で勤務（令和6年4月1日から実施要項に定める出願書類の受付期間の最終日までの間に、勤務実績がある場合を言う）し、出願時に所属長の証明を得た者。なお、令和6年度に常勤講師等、非常勤講師又は栄養士（会計年度任用）として勤務している学校の校種・職種及び教科（科目）等は問わないものとする。

特別選考④ 理科教育推進特別選考	
対象となる区分	○小学校 ○小学校〔小中連携推進枠〕（中学校教諭普通免許状（理科）を所有又は取得見込みの者） ○中学校の理科 ○中学校〔小中連携推進枠〕の理科
出願要件	○「理数系教員（コア・サイエンス・ティーチャー：CST）養成拠点構築プログラム」を修了した者（令和7年3月31日までに修了見込みの者を含む）。ただし、過去に岡山県・岡山市公立学校教員採用候補者選考試験を「理数系教員養成拠点構築プログラム」修了者を対象とした特別選考で受験した者及び岡山市公立学校教員採用候補者選考試験を理科教育推進の特別選考で受験した者は除く。

特別選考⑤ 大学等推薦特別選考	
対象となる区分	○小学校（すべての枠を含む） ○中学校（すべての枠を含む）
出願要件	○次の①～④の要件を全て満たし、大学等が推薦する者。 ①岡山市の教員として勤務することを第一志望とし、令和7年4月1日より勤務可能な者（本制度による採用候補者は大学院在学者及び大学院進学予定者に対する特例（採用候補者名簿登録の有効期間の延長）の対象にはならない）。 ②岡山市が求める教員像にふさわしい資質と能力を有し、学業成績が優秀な者。 ③出願時に、大学、大学院又は教職大学院に在籍し、令和7年3月31日までに卒業（修了）見込みである者。 ④出願した受験区分（教科）に該当する一種（専修）免許状を所有する者（令和7年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者を含む）。 詳細は、教職員課ホームページ掲載の「大学等推薦特別選考実施要項」を確認すること。

特別選考⑥ 大学3年生等特別選考	
対象となる区分	○小学校、中学校、養護教諭
出願要件	○出願時に大学3年生等（大学または大学院の最終年次の1年前の年次に在籍している者をいう。なお、科目履修生は含まない）で、令和7年度中に卒業見込みであり、志願する受験区分に相当する教諭普通免許状を令和8年3月31日までに取得見込みの者。 〈備考〉 ※第1次試験の教科等専門試験のみ受験可能。 ※第1次試験の教科等専門試験を合格した場合、令和7年度実施の第1次試験で教科等専門試験の受験が免除となる。

身体に障害のある者を対象とした選考	
対象となる区分	○全ての受験区分
出願要件	○受験資格（P1「2 受験資格」参照）を満たしている。 ○身体障害者手帳（障害の程度が1級から6級までの者）を所有している者。 〈備考〉 ※採用候補者予定数は若干名とする。 ※身体に障害のある者を対象にした選考において、P2～3にある特別選考の出願要件を満たす場合は、該当する特別選考で受験することができる。ただし、特別選考を重複して申し込むことはできない。

5 出願手続

受付期間

令和6年4月10日(水)～令和6年5月17日(金) 午後5時まで

出願の流れ

- (1) 岡山市電子申請サービスによる申込(志願者全員) ※詳細はP4～6
- (2) 郵送または持参による書類等の提出(一般選考の者を除く) ※詳細はP7～8
- (3) 申請後に必要な準備・確認 ※詳細はP8

(1) 岡山市電子申請サービスによる申込(志願者全員)

- ・原則として、「岡山市電子申請サービス(インターネット)」で行うこと。
※必ずパソコンを使用して電子申請を行うこと。スマートフォンやタブレット端末、携帯電話等で電子申請はできない。
※やむを得ない事情により、電子申請による出願ができない場合は、岡山市教育委員会事務局学校教育部教職員課(以下教職員課)まで連絡すること。(TEL:086-803-1563)

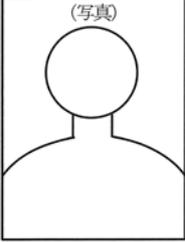
【岡山市電子申請サービス】

https://s-kantan.jp/city-okayama-okayama-u/offer/offerList_initDisplay.action

※岡山市電子申請サービスで検索。教職員課のホームページからもアクセス可能

- ・教職員課のホームページにある「電子申請マニュアル(利用者登録編)」、「電子申請マニュアル(申請編)」をダウンロードし、操作手順を確認しながら出願すること。
- ・岡山市電子申請サービスには、入力制限があり、入力時間(約50分)を超えると破棄され、再度入力が必要となるため、教職員課ホームページから「入力準備シート」をダウンロードし、適宜活用すること。
- ・締め切り間際になると、岡山市電子申請サービスが混雑し、システムに繋がりにくくなるおそれがあるため、早めに出願すること。受付期間最終日の午後5時までに申請データの到着が確認できない場合は、いかなる理由があっても受け付けない。また、受付期間中であっても、システムメンテナンス等により、一時的に使用できないことがあるため注意すること。

入力事項	入力上の注意・要件
受験区分	小学校、小学校〔英語枠〕、小学校〔小中連携推進枠〕、小学校〔特別支援教育推進枠〕、中学校、中学校〔小中連携推進枠〕、中学校〔特別支援教育推進枠〕、養護教諭、栄養教諭のいずれか一つを選択すること。
教科	中学校、中学校〔小中連携推進枠〕、中学校〔特別支援教育推進枠〕の出願者のみ選択すること。
実技「武道」の選択	保健体育の受験者のみ選択し、入力すること。
選考区分	一般選考、社会人経験者特別選考、教職経験者特別選考(現職教諭・岡山市元教諭)、講師特別選考、理科教育推進の特別選考、大学等推薦特別選考、大学3年生等特別選考のうちからいずれか一つを選択すること。
身体に障害のある者を対象とした選考	身体に障害のある者を対象とした選考に出願する者のみチェックすること。
氏名や現住所	環境に依存しない文字(JIS第一水準漢字又はJIS第二水準漢字)で入力すること。(利用できない文字例:高、崎など)なお、ローマ数字(I、II、…)も使用できないため、算用数字(1、2、…)に置き換えること。
国籍	日本国籍を有しない者は、その有する国籍を入力すること。

生年月日・年齢	年齢は、令和7年4月1日現在で入力すること。	
写真	<p>出願者の顔写真〔画像ファイル〕</p> <p>※以下の規格の写真を準備すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人のみ上半身が撮影されたもの ・申請前6か月以内に撮影されたもの ・無帽で正面を向いたもの ・背景や影がないもの ・受験時に眼鏡を着用する場合は、必ず眼鏡を着用したもの ・JPEG又はJPG形式 データサイズは2MB以内 ・縦横比が縦4：横3 <p>なお、ファイル名は下記のとおり半角英数字の氏名生年月日とし、スペースを空けないものとする。</p> <p>例) 岡山次郎 S63.1.4 生 → okayamajiro19880104</p> <div style="text-align: right;"> <p>(見本)</p>  </div>	
電話番号	電話番号(2)は岡山市電子申請サービスに登録されている番号以外の連絡先がある者のみ入力すること。	
最終学歴	各種別をリストから選択後、正式名称を入力すること。また入力する学歴は最終卒業・修了(見込)学校とし、教員免許状取得のための通信教育等は、下部の学歴・職歴・受賞歴欄に入力すること。	
教員免許状	<ul style="list-style-type: none"> ・所有又は取得見込みの免許状について全て入力すること。校種等欄は、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・養護教諭・栄養教諭・盲学校・聾学校・養護学校の別を、種類欄は、専修・1種・2種の別を入力すること。 ・所有状況欄は、該当するものを選択すること。なお、「加点に関する事項」に関わるため、入力漏れの無いようにすること。 ・教員免許状を6種類以上所有(取得見込みを含む)する場合は、出願校種(教科)・職種のものから優先的に入力すること。加点に関わる免許状の入力漏れが無いように注意すること。 	
加点に関する事項	<p>複数免許保有者(大学3年生等特別選考の者は除く。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受験区分が小学校(すべての枠を含む)で下記の①か②の条件を満たす者は選択すること。 <ul style="list-style-type: none"> ①中学校教諭普通免許状(理科、数学、保健体育、英語)又は高等学校教諭普通免許状(理科、数学、保健体育、英語)を所有する者(取得見込みの者を含む)。 ②特別支援学校教諭普通免許状を所有する者(取得見込みの者を含む)。 ・1つの免許状につき第1次試験の教科等専門試験に5点の加点をする。 <ul style="list-style-type: none"> ※同一教科の中学校教諭普通免許状と高等学校普通免許状を所有していた場合も、第1次試験の教科等専門試験の加点は5点とする。 ※令和7年3月31日までに加点対象となる免許状が取得できなかった場合は、採用候補者名簿への登録を取り消す場合がある。 	
※加点の上限は最大10点。	<p>岡山市講師経験者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月から出願時までに通算12月以上、常勤講師等(常勤講師、養護教諭(臨時的任用)養護助教諭、栄養教諭(臨時的任用)、実習助手、任期付短時間勤務職員を指す)、非常勤講師又は栄養士(会計年度)として岡山市立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び岡山大学教育学部附属小学校・中学校に勤務している者は選択すること。 ・第1次試験の教科等専門試験に5点の加点をする。 <p>岡山市教員養成セミナー「夢への扉」修了者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度実施の岡山市教員養成セミナー全てに参加し、修了証を得た者は選択する。また、修了証番号(右上の数字5桁)を入力すること。 ・第1次試験の教科等専門試験に5点の加点をする。 	
考慮する事項	司書教諭	所有または取得見込みの者は選択すること。
	英語の資格所有	該当者のみ入力すること。「<表1>各資格・検定試験の基準(英語の資格所有者)」に示す基準を満たしている資格・検定試験について入力すること。
	複数免許	<p>下記の内容で1つでも該当する者は入力すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校教諭普通免許状を所有する者(取得見込みの者を含む)。 ・中学校教諭普通免許状を複数所有する者(取得見込みの者を含む)。 ・小学校と中学校の両方の教諭普通免許状を所有する者(取得見込みの者を含む)。

考慮する事項	正規教員歴	国公立私立学校の教諭等、養護教諭、栄養教諭として勤務経験のある者（出願時に勤務している者を含む）は入力すること。直近の勤務校1校についてのみ、学校名、職名、在職期間を入力すること。
	ボランティア活動	学校支援ボランティア・部活動・ボランティア活動・JICA ボランティア事業への参加等の内容や実績がある者は入力すること（岡山市外、他府県の活動も含む）。 団体名、活動期間、活動内容を入力すること。
	スポーツ	下記の内容で1つでも該当する者は大会に出場した年月日、競技名・大会名等、成績（記録）を入力すること。 ・国際レベルの大会（オリンピック、世界選手権大会、アジア大会、ユニバーシアード大会、パラリンピック等）に日本代表として出場した者。 ・全国大会（国民体育大会、日本選手権大会、全日本社会人選手権大会、全日本学生選手権大会、及びこれらに準ずる全国レベルの大会）に選手として出場した者。 ※ただし、いずれの場合も団体種目は出場選手登録された者に限る。
	指導実績	スポーツの分野、音楽・美術等の芸術の分野において、優秀な指導実績のある者は入力すること。特に優秀な指導実績を収めたもの1つについてのみ、実績を収めた年月日、競技名・コンクール名等、成績（記録）を入力すること。
学歴・職歴・受賞歴	高等学校（中等教育学校）卒業以後、日付順にもれなく入力すること。職歴については、「電子申請マニュアル（申請編）」にある受験願書の例にならって、簡略に入力すること。 記入欄が不足する場合は、「申し込み画面又は教職員課ホームページにある「職歴追加用ファイル」をダウンロードし、入力後、電子ファイルを添付すること。 （在学中のアルバイトについては入力不要）	
志願理由	具体的に入力すること（800字程度）。	
資格・特技	英語の資格、部活動の記録等、特に秀でたもののみ入力すること（100字程度）。	
刑罰・処分歴	有・無のどちらかを必ず選択すること。また、「有」の場合は、判決確定年月日又は処分年月日とその内容を入力すること。 なお、刑罰は、罰金刑以上（道路交通法違反を除く）のものとする。また、処分歴は、懲戒処分（例：わいせつ行為、体罰、飲酒運転及びセクハラ等）の内容を入力すること。 懲戒処分等の記載事項が3項目以上ある場合は、直近のものから時系列順に2項目まで入力すること。	
志願者署名	必ず受験者本人が入力年月日・氏名を入力すること。	
受験上の配慮事項	身体等の事情により、受験に際して 配慮を必要とする場合には、その旨を必ず 入力すること。	
個人情報を利用することの同意について	岡山市での講師等の依頼のため、受験願書に記載されている個人情報を利用することについて、該当するものをチェックすること。	

〈表1〉 各資格・検定試験の基準（英語の資格所有者）

受験区分	ケンブリッジ 英語検定	実用英語 技能検定	GTEC	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEICBridge L&R/S&W	TOEIC L&R/S&W
小学校	140 以上	2 級以上	960 以上	4.0 以上	225 以上	420 以上	42 以上	170 以上	1150 以上
中学校	160 以上	準 1 級以上	1190 以上	5.5 以上	309 以上	600 以上	72 以上	—	1560 以上

※ GTEC については、問題タイプが CBT、Advanced、Basic、Core の基準である。Academic、Business については、教職員課へ問い合わせること。

※ TOEIC L&R/S&W については、TOEIC S&W のスコアを 2.5 倍にしたものと TOEIC L&R のスコアを合算したスコアで基準を満たすこと。

※有効期限がある認定証等は受験願書「志願者署名欄」の入力年月日の時点で有効であること。有効期限が過ぎたものは不可とする。

(2) 郵送または持参による書類等の提出（一般選考の者を除く）

「特別選考」で受験する者は下記①～③の書類等を提出すること。また、「身体に障害のある者を対象とした選考」で受験する者は下記の②③の書類等を提出すること。書類を郵送する場合は、封筒の表に「岡山市教員採用試験出願書類在中」と朱書きし、簡易書留で郵送すること。

＜郵送先＞〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1 岡山市教育委員会事務局学校教育部教職員課

①特別選考申告票（教職員課ホームページよりダウンロード）

- ・印欄の受験番号は記入しないこと。
- ・「受験区分」、「教科」（該当者のみ）、「氏名」、「特別選考の種別」を記入すること。

記入欄	記入上の注意
受験区分	小学校、小学校〔英語枠〕、小学校〔小中連携推進枠〕、小学校〔特別支援教育推進枠〕、中学校、中学校〔小中連携推進枠〕、中学校〔特別支援教育推進枠〕、養護教諭、栄養教諭のいずれかを記入すること。
教科	中学校、中学校〔小中連携推進枠〕、中学校〔特別支援教育推進枠〕の出願者のみ、受験願書に記入した教科と同じ教科を記入すること。
特別選考の種別	出願する特別選考に丸を記入すること。

- ・該当する特別選考の欄に記入をすること。記入の仕方はP7～8の「書類等確認欄」で確認すること。

②返信用封筒

- ・長形3号(120mm×235mm)の大きさのワンタッチシール封筒
- ・郵便番号、送付先住所、宛名(最後に必ず「様」を付けること)を明記すること。
- ・「簡易書留」と朱書きし、**444円分の切手を貼ること**。
- ・送付先住所は、令和6年8月1日(木)以降に、第1次試験の結果通知を**必ず受け取ることができる住所**とすること。

③その他書類

選考によっては在職証明書等が必要な場合がある。P7～8の「書類等確認欄」で確認すること。

書類等確認欄

① 社会人経験者特別選考（社会人経験者を対象とした特別選考）	
<input type="checkbox"/> 特別選考申告票 <ul style="list-style-type: none"> ① 勤務状況については、勤務先名、業種、職名、期間、年月数を記入すること。 ② 休業・休職期間については、期間、年月数、事由を記入すること。 ③ 年月数を記入する場合、日数を月数としてカウントするとき、1月の中で15日以上の任用期間があれば1月と数える。15日未満の場合は切り捨てて記入する。 (例)・令和3年4月1日～令和5年1月20日 → 1年10月 ・平成31年4月1日～令和2年3月10日 → 11月 ④ 合計年月数を記入する場合、12月を1年としてカウントする。 <input type="checkbox"/> 返信用封筒（P7「(2) ②返信用封筒」を参照） <input type="checkbox"/> 在職証明書 平成31年4月1日から令和6年3月31日までの間に、民間企業、官公庁（教職以外）及び大学又は研究機関等の正規職員として、出願時に1か所3年以上勤務したことが証明できるもの（1社のみでよい）を提出すること。教職員課ホームページよりダウンロードし、事業主に作成を依頼すること。提出受付期間内に提出が困難な場合は教職員課（TEL086-803-1563）に相談すること。	
現職教諭（養護教諭・栄養教諭）を対象とした特別選考	<input type="checkbox"/> 特別選考申告票 記入の仕方は上記「①社会人経験者特別選考」と同じ。 <input type="checkbox"/> 返信用封筒（P7「(2) ②返信用封筒」を参照） <input type="checkbox"/> 在職証明書 出願時において、国公立学校（岡山県内の公立学校を含む）に正規任用の養護教諭、栄養教諭として在職（休職中である場合を除く）しており、通算3年以上の在職経験（休職や育児休業等の期間を除く）があることを証明できるものを提出すること。教職員課ホームページよりダウンロードし、任命権者に作成を依頼すること。受付期間内に提出が困難な場合は教職員課（TEL086-803-1563）に相談すること。
岡山市元教諭を対象とした特別選考	<input type="checkbox"/> 特別選考申告票 記入の仕方は上記「①社会人経験者特別選考」と同じ <input type="checkbox"/> 返信用封筒（P7「(2) ②返信用封筒」を参照）

③ 講師特別選考（講師等経験者を対象とした特別選考）

特別選考申告票

- ① 氏名及び令和6年度（出願時）の勤務状況について記入すること。
- ② 勤務状況については、勤務校名、任用（予定）期間（辞令に記された年月日）及び任用種別（常勤講師、養護教諭（臨時的任用）、養護助教諭、栄養教諭（臨時的任用）、実習助手、任期付短時間勤務職員、臨時教諭補助員、非常勤講師、栄養士（会計年度任用）、習熟度サポーター）を記入すること。
- ③【所属長の証明】欄は、現在の勤務校又は令和6年4月1日から受付期間の最終日（令和6年5月17日）までの間に所属した直近の勤務校の所属長が作成したものを提出すること。

返信用封筒（P7「(2)②返信用封筒」を参照）

令和5年度実施岡山市公立学校教員採用候補者選考試験の第1次試験又は第2次試験の結果通知の写し

④ 理科教育推進特別選考（理科教育推進の特別選考）

特別選考申告票

- ① 氏名及び特別選考の出願要件を満たす、理数系教員（コア・サイエンス・ティーチャー：CST）養成拠点構築プログラムの履修大学名、履修（予定）期間を記入すること。履修状況は該当するものを丸で囲むこと。
- ②【大学担当者の証明】欄は、出願時に修了見込みの者は、現在履修中の大学担当者が作成したものを提出すること。

返信用封筒（P7「(2)②返信用封筒」を参照）

「理数系教員養成拠点構築プログラム」の修了証書又は認定証の写し（修了した者のみ）

⑤ 大学等推薦特別選考

〈志願者本人が準備し提出するもの〉

特別選考申告票

※氏名及び大学等名・学部・学科（研究科等）、取得（見込）免許状、卒業・修了見込年月日を記入すること。卒業見込・修了見込のいずれか該当するものを丸で囲むこと。

返信用封筒（第一次試験結果通知用）（P7「(2)②返信用封筒」を参照）

〈大学等が準備し提出するもの〉

成績証明書

推薦書

返信用封筒（特別選考の結果通知用）（令和6年度実施 岡山市公立学校教員採用候補者選考試験大学等特別選考実施要項参照）

⑥ 大学3年生等特別選考（大学3年生等を対象とした特別選考）

特別選考申告票

※氏名及び大学等名・学部・学科（研究科等）、取得（見込）免許状、卒業・修了見込年月日を記入すること。卒業見込・修了見込のいずれか該当するものを丸で囲むこと。

返信用封筒（P7「(2)②返信用封筒」を参照）

身体に障害のある者を対象とした選考

返信用封筒（P7「(2)②返信用封筒」を参照）

身体障害者手帳（障害の程度が1級から6級までの者）の写し

(3) 申請後に必要な準備・確認

- ① 岡山市電子申請サービスによる申込後に「申込完了メール」が登録したメールアドレスに届く。届かない場合は申込が完了していない可能性があるため、教職員課に電話で確認すること。
- ② 申請した内容に不備等があった場合に、「修正依頼メール」が登録したメールアドレスに届くため、受信状況を随時確認すること。
- ③ 不備がなければ一週間程度で「出願受理メール」が登録したメールアドレスに届くため、受信状況を随時確認すること。
※「出願受理メール」が届いても、特別選考が決定されたわけではない。書類審査の結果については、受験票送付の際に通知する。特別選考の対象にならなかった者は、一般選考の出願者として受け付ける。
※「出願受理メール」が届いた後でも、記載内容に疑義がある場合は、教職員課より連絡することがある。
- ④ 受験票の作成（試験当日に全員持参）
 - ・登録したメールアドレス宛に令和6年6月7日頃、「受験票の発行通知」が届く。令和6年6月14日までにメールが届かない場合は教職員課に電話で確認すること。
 - ・受験票をダウンロードし、A4サイズの白紙にカラーで印刷し、試験当日に持参すること。
- ⑤ 一般選考区分で出願する者は返信用封筒を作成し、試験当日に持参すること（P7「(2)②返信用封筒」を参照）。

6 選考試験の日程・内容及び会場等

(1) 第1次試験

① 試験日程・内容・会場等

実施日	日程	内容	会場
7月6日(土)	10:30～	教科等専門試験(100点・60分間)	岡山市立岡山後楽館中学校・高等学校他 ※1
7月13日(土) 7月14日(日)	※2	個人面接	岡山市立岡山後楽館中学校・高等学校

※1 教科等専門試験の会場は、出願者の人数により変更になる場合があるため、受験票に記載された会場を確認すること。

※2 個人面接の詳細は、6月下旬頃に教職員課ホームページに掲載するとともに、教科等専門試験の試験会場に掲示する。

②教科等専門試験当日の携行品

受験票(詳細はP8「(3)申請後に必要な準備・確認」を参照) 返信用封筒(詳細はP7「(2)②返信用封筒」を参照)

鉛筆(HB) 消しゴム 定規 上履き 下履きを入れる袋

※服装は、すべての試験でクールビズ(上着、ネクタイ等を着用する必要はない)とする。

下記の表に該当する者は以下の携行品も準備する。

対象者	携行品
中学校の「数学」受験者	コンパス
中学校の「技術」受験者	三角定規(目盛りの付いたもの一組)、コンパス
「身体に障害のある者を対象とした選考」の受験者	身体障害者手帳(原本)

③個人面接当日の携行品

受験票(詳細はP8「(3)申請後に必要な準備・確認」を参照)

鉛筆(HB) 消しゴム 上履き 下履きを入れる袋

※服装は、すべての試験でクールビズ(上着、ネクタイ等を着用する必要はない)とする。

(2) 特別面接

① 試験日程・内容・会場等

実施日	日程	内容	会場
7月6日(土)	13:00～	特別面接	岡山市立岡山後楽館中学校・高等学校

※特別面接の詳細は、6月下旬頃に教職員課ホームページに掲載するとともに、受験票に記載する。

② 特別面接当日の携行品

受験票(詳細はP8「(3)申請後に必要な準備・確認」を参照)

鉛筆(HB) 消しゴム 上履き 下履きを入れる袋

※服装は、すべての試験でクールビズ(上着、ネクタイ等を着用する必要はない)とする。

(3) 第2次試験

第2次試験の受験資格を得た者が受験する。

① 試験日程・内容・会場等

実施日	内容	受験区分	会場
8月10日(土)	集団活動	全ての区分	岡山市立 岡山後楽館中学校・高等学校
8月12日(月)	個人面接	全ての区分	
8月17日(土)	実技	中学校(音楽・美術・保健体育・技術・家庭科)	岡山市立桑田中学校
8月19日(月)	模擬授業・口頭試問	小学校(全ての枠) 中学校(全ての枠) 栄養教諭	
	模擬場面指導・口頭試問	養護教諭	

※ 個人面接、実技、模擬授業(模擬場面指導)・口頭試問の日程及び会場は、8月上旬頃に教職員課ホームページに掲載する。

※ 上記の試験とは別に、集団活動の控室にて、テーマに沿って作文する(10分間・字数制限なし)。

②第2次試験当日の携行品

- 受験票（詳細はP8「(3)申請後に必要な準備・確認」を参照） 返信用封筒（詳細はP7「(2)②返信用封筒」を参照）
 - 成績証明書（詳細はP11「8(1)結果通知」を参照）
 - 鉛筆（HB） 消しゴム 上履き 下履きを入れる袋
- ※服装は、すべての試験でクールビズ（上着、ネクタイ等を着用する必要はない）とする。
 ※実技試験があるものは次に示す「③実技内容等」で携行品を確認すること。

③ 実技内容等

受験区分	教科	内容及び携行品
中学校	音楽	「ピアノによる弾き歌い」 学習指導要領に示された歌唱共通教材のうち、当日指示する1曲を、前奏付きで2番まで演奏する。 ※当日、楽譜が必要な者は各自持参すること。移調も可。 「アルトリコーダーによる新曲視奏」 【携行品】 <input type="checkbox"/> アルトリコーダー
	美術	「デッサン」「立体造形」 【携行品】 <input type="checkbox"/> ポスターカラー <input type="checkbox"/> パレット <input type="checkbox"/> 筆 <input type="checkbox"/> 筆洗 <input type="checkbox"/> 定規 <input type="checkbox"/> コンパス <input type="checkbox"/> はさみ <input type="checkbox"/> カッターナイフ <input type="checkbox"/> デッサン用鉛筆 <input type="checkbox"/> 練りゴム又は消しゴム <input type="checkbox"/> 筆ふき用の布 <input type="checkbox"/> マスキングテープ <input type="checkbox"/> 作業のできる服装
	保健 体育	「器械運動」「球技」「ダンス」 「武道」（柔道、剣道のいずれか1種目を出願時に選択） 【携行品】 <input type="checkbox"/> 体育実技のできる服装 <input type="checkbox"/> 体育館用シューズ（上履きとは別のもの） <input type="checkbox"/> 柔道着（「武道」で柔道を選択した者）
	技術	「製品の製作」 【携行品】 <input type="checkbox"/> 作業のできる服装 <input type="checkbox"/> 筆記用具
	家庭	「調理」 【携行品】 <input type="checkbox"/> 調理のできる服装

※ 中学校（小中連携推進校、特別支援教育推進校を含む）においては、出願した教科の実技試験を受験すること。

(4) その他

- ・受験者が日時の変更をすることはできない。
- ・携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等を試験で使用することはできない。
- ・試験会場への自家用車の乗り入れは禁止とする。また、**試験会場周辺への自家用車での送迎は厳に慎むこと。**
- ・受験すべき試験を一つでも受験しなかった場合は、その後に実施される試験を受験することはできない。
- ・採用候補者選考試験中の負傷や疾病については、応急処置は行うが、原則として受験者の自己責任で対応すること。万一に備えて健康保険証を持参することが望ましい。
- ・台風等により、やむを得ず試験日程等を変更する場合は、**出願時に登録したメールアドレスに案内が届くので各自確認**すること。
- ・身体に障害のある者を対象とした選考については、すべての試験において、障害の種類・程度に応じた受験上の配慮を行う。

7 選考方法等

(1) 第1次試験

① 選考の方法

教科等専門試験、個人面接、並びに提出された各種資料（受験願書、特別選考申告票等）を基に、「加点する事項」（P5参照）、「考慮する事項」（P6参照）を踏まえて総合的に選考する。

② 主な評価の観点

個人面接
 「コミュニケーション能力」「社会性、協調性」「主体性」

(2) 特別面接

① 選考の方法

個人面接並びに提出された各種資料（受験願書、特別選考申告票等）を基に、「考慮する事項」（P6参照）を踏まえて総合的に選考する。

② 主な評価の観点

「コミュニケーション能力」「意欲的態度、使命感」「教育的愛情、向上心」「社会性、協調性」

(3) 第2次試験

① 選考の方法

集団活動、個人面接、実技、模擬授業（模擬場面指導）・口頭試問、並びに提出された各種資料（受験願書、課題作文、特別選考申告票等）を基に、「考慮する事項」（P6参照）を踏まえて総合的に選考する。

② 主な評価の観点

- (ア) 集団活動及び個人面接
 「コミュニケーション能力」「意欲的態度、使命感」「教育的愛情、向上心」「社会性、協調性」
- (イ) 実技
 (音楽)「技能及び表現力」(技術)「技能及び工夫し創造する能力」(体育)「技能の習得状況」
 (美術)「技能及び表現力」(家庭)「技能及び工夫し創造する能力」
- (ウ) 模擬授業（模擬場面指導）・口頭試問
 「教科指導(保健指導)に関する知識・技能の保有」「児童・生徒の理解」「柔軟性」「コミュニケーション能力」「教育的愛情、向上心」

8 選考結果の通知・情報提供

(1) 結果通知

第1次試験・特別面接 令和6年8月1日(木)

○第2次試験の受験資格を得た者は、最終卒業・修了(見込)学校の成績証明書(8月1日時点で取得可能のところまで)を第2次試験当日に持参すること。なお、試験当日持参できない場合は、第2次試験最終日まで持参するか、教職員課宛に郵送すること。

第2次試験 令和6年9月20日(金)

○採用候補者名簿に登録された者は、原則として令和7年4月1日付で採用する。

○採用候補者名簿登録の有効期間は、令和8年3月31日までとする。

※岡山市教育委員会事務局学校教育部教職員課のホームページに、第2次試験の受験資格を得た者、採用候補者名簿に登録された者の受験番号を掲載する(掲載期間は、結果通知日から10日間とする)。

※第1次試験・特別面接、第2次試験ともに、選考結果に関する問い合わせには一切応じない。

※郵便局による保管期間が過ぎ、岡山市教育委員会事務局学校教育部教職員課へ返送された結果通知については、結果通知日から3ヶ月間保管するので、受取りを希望する者は、その旨を申し出ること。なお、3ヶ月を過ぎたものについては廃棄する。

※完全受験しなかった受験者にも、返信用封筒が提出されている場合には、結果を送付する。

(2) 選考結果の情報提供

時期	対象	内容
第1次試験・特別面接の結果通知時	第2次試験の受験資格が得られなかった者	・教科等専門試験の点数並びに個人面接の評価段階 ・特別面接の評価段階
第2次試験の結果通知時	第2次試験の受験者	・集団活動、個人面接、実技、模擬授業(模擬場面指導)・口頭試問の評価段階

9 採用まで

(1) 採用に関して

- ① 採用候補者名簿登録の有効期間は合格発表から令和8年3月31日までとし、原則として令和7年4月1日付で採用とするが、場合によってはそれ以前に採用することもある。
- ② 採用後、一年間は条件付き採用となっており、この期間に職務を良好な成績で遂行したときにはじめて「正式採用」となる。
- ③ 採用候補者名簿に登録されても、次のいずれかに該当する場合には、採用候補者名簿から抹消する。
 - (ア) 令和6年度実施岡山市公立学校教員採用候補者選考試験の受験資格を欠いていることが判明した場合
 - (イ) 教員としてふさわしくない事実が判明した場合
 - (ウ) 令和7年4月1日時点で、所有している教諭普通免許状が失効している場合
- ④ 日本国籍を有しない者を採用する場合には、任用の期限を付さない常勤の講師とする。
- ⑤ 勤務校は岡山市立の小学校、中学校及び義務教育学校のいずれかとする。ただし、将来人事異動により、小学校、中学校、義務教育学校及び高等学校等の間で、異動する場合がある。

(2) 大学院又は教職大学院(以下「大学院等」という)在学者及び大学院等進学予定者に対する特例

採用候補者名簿に登録された者のうち、大学院等在学者及び大学院等進学予定の大学4年生が、大学院等への修学の継続又は進学を希望する場合、以下の①、②のすべての要件に該当することを条件に、本人が岡山市教育委員会に申し出を行い、許可を受けた者に限り、採用候補者名簿登録の有効期間を延長することができる。

- ① 令和6年度実施岡山市公立学校教員採用候補者選考試験で採用候補者名簿に登録された校種、教科と同じ校種、教科(小中連携推進枠の採用候補者は小学校、中学校両方)の専修免許状を取得すること。
- ② 延長する採用候補者名簿登録期間内に大学院修士課程又は教職大学院専門職学位課程を修了し、専修免許状を取得すること。

【延長期間の上限について】

修業年限を限度として、大学院等進学者は2年間、大学院等修学継続者は1年間(修業年限が3年制の大学院等1年生の場合は2年間)とする。

(3) 採用までの流れ

①回答書や履歴書等の提出 (令和6年9月20日(金)送付予定)

採用候補者名簿に登録されたものには、結果通知とともに、回答書や履歴書等の書類を送付するので、指定された期日までに提出すること。

②新規採用教職員説明会及び面接等の案内送付 (令和7年1月下旬送付予定)

採用候補者名簿に登録された者には、3月中旬から下旬に行われる新規採用教職員説明会の案内に関する回答書を送付するので、指定された期日までに提出すること。

③給与等に関する書類の作成 (令和7年2月下旬送付予定)

採用候補者名簿に登録された者には、2月下旬に教育給与課から書類を送付するので、各自記入し、3月中旬から下旬に行われる新規採用者教職員説明会及び面接の際に、持参すること。

④新規採用者教職員説明会及び面接 (令和7年3月中旬から下旬)

採用に関する確認や面接を行うため、必ず参加すること。その際、卒業証書や免許状等の原本を用意すること。

10 その他

【過去3年間の試験問題の公開について】

- 第1次試験については、令和6年7月19日(金)から、岡山市役所本庁舎2階情報公開室において、筆記試験の問題と解答を閲覧し、写しをとる(有料)ことが可能。
- 第2次試験については、令和6年8月30日(金)から、岡山市役所本庁舎2階情報公開室において、集団活動のテーマを閲覧し、写しをとる(有料)ことが可能。

【給与について】

令和6年4月1日現在の給料月額、次のとおり。 ※(*)は養護教諭・栄養教諭の給料月額

大学新卒	短大新卒
253,189円(*250,689円) 内訳：基本給231,600円、 地域手当7,225円、教職調整額9,264円、 義務教育等教員特別手当2,600円 初任給調整手当2,500円(小学校教諭、中学校教諭)	226,645円(*224,145円) 内訳：基本給207,100円、 地域手当6,461円、教職調整額8,284円、 義務教育等教員特別手当2,300円 初任給調整手当2,500円(小学校教諭、中学校教諭)

- ※勤務内容等によって、期末・勤勉手当、通勤手当、住居手当、扶養手当等が支給される。
- ※小学校教諭、中学校教諭は、採用後5年間、初任給調整手当が毎月支給される。
- ※特別支援学級担当教員には、給料の調整額が別途支給される。
- ※給与については、大学卒業以降の勤務歴等を考慮し、岡山市の基準において、給料再計算した金額が給与として支給される。

11 試験会場

① 岡山後楽館中学校・高等学校
岡山市北区南方一丁目3番15号
●JR岡山駅東口(後楽園口)から徒歩15分



② 岡山市立桑田中学校
岡山市北区東島田町2-3-35
●JR岡山駅東口(後楽園口)から徒歩15分



※試験会場は出願者の人数等により変更になる場合があるため、受験票や教職員課ホームページで随時確認すること。

12 問い合わせ先

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号

岡山市教育委員会事務局学校教育部教職員課 (TEL 086-803-1563)

※岡山市教育委員会事務局学校教育部教職員課ホームページ

https://www.city.okayama.jp/soshiki/6-2-1-0-0_9.html

